

「国土交通フォーカス」について

1. 趣旨・目的

国土交通省においては、平成28年を「生産性革命元年」と位置付け、社会全体の生産性向上につながる取組の先進事例として「生産性革命プロジェクト20」を選定し、「前進の年」である本年、引き続き強力で推進しているところである。

このような生産性革命の基礎となる「小さなインプットでできるだけ大きなアウトプットを生み出す」という考え方について、さらに国土交通行政全般へ浸透させるため、“工夫度の高い”施策の立案につながるような省内議論の活性化を図るとともに、国民各層における国土交通行政の理解の促進に資する効果的な政策広報の展開を目的として、特に工夫度の高い施策に焦点を絞り、「国土交通フォーカス」として取りまとめることとする。

◆平成29年3月30日 国土交通省生産性革命本部(第5回会合) 大臣発言(概要)

「小さなインプットでできるだけ大きなアウトプットを生み出す」という工夫を行うことの大切さが、改めて組織として共有されつつある。今後は、こうした生産性革命の基礎にある考え方を、国土交通行政の施策全般に着実に浸透させていきたいと考えており、以下3点指示をする。

- ①「小さなインプットでできるだけ大きなアウトプットを生み出す」という観点から工夫度の高い施策が進められるよう、職員一丸となって知恵を絞っていただきたい。
- ②第4次産業革命や、シェアリングエコノミーといった新たな経済活動が広がる中で、このような「イノベーション」を国土交通分野の施策にどのように活かしていくべきか、これまで以上に積極的な検討をお願いしたい。
- ③引き続き、効果的な広報活動や経済団体等との意見交換に取り組んでいただきたい。

2. 内容等

- ・社会経済情勢を踏まえて設定したテーマに沿い、翌年度実施する“工夫度の高い”施策を中心に、省としてアピールすべき施策集として取りまとめ(毎年1月目途)
- ・取りまとめた成果は「パンフレット」として発行・公表することを想定

3. 「国土交通フォーカス2018」のテーマ

“イノベーションの推進”による

- ①生産性革命(持続的な経済成長の実現)
- ②働き方改革の実現
- ③QOLの向上(高齢者・子育て世代を念頭に)
※QOL: Quality Of Life 「国民ひとりひとりの人生や生活の質」の意味
- ④安全・安心の確保

※政府全体の動向等を踏まえ、必要に応じテーマを追加等

(参考)スケジュール

平成29年	9月～12月頃	省内での議論・調整 政務3役との意見交換
平成30年	1月	決定・公表(予定)